

令和 3 年 6 月 10 日

県政への反映状況（令和 2 年度開催 知事と一緒に生き生きトーク）

第 1 回：テーマ「地域の魅力について考える」（R 元. 7. 16）

- 1 移住者に必要となる空き家の情報が少ない。一旦、移住した地域から他地域へさらなる移住をすることもある。空き家に関する情報が市町村間で連携されているとよい。
- 移住希望者のニーズなどをデータベース化し、県内市町村からも閲覧出来るようにするとともに、空き家バンクと不動産関係団体の情報を掲載した情報などを提供する空き家情報流通システムを運用するなど、市町村間で情報連携を図りました。

第 2 回：テーマ「いばらぶ♥ようこそ！デニムの聖地井原へ」（R2. 8. 4）

- 2 地域の賑わい創出のため、井原デニムストリート構想を進めており、店舗集積を高めるため、インキュベート機能を備えたチャレンジショップなども企画している。県としても、この取組を後押しし、地域の魅力として首都圏等へ P R してほしい。
- テレビ、ラジオ、雑誌、動画等の広報媒体を活用し、県内外へ井原デニムストリートの魅力発信を行いました。

第 3 回：テーマ「くだもの王国岡山」ぶどうの振興（R2. 11. 25）

- 3 アルバイトを雇いたい農家と働きたい人をマッチングするアプリがある。農家が利用するためには、J A による事業者登録が必要で、利用できない農家が多い。
- 未登録の J A に声掛けを行い、県内全ての J A で登録が完了しました。
- 4 海外でシャインマスカットのコピー品が出回っている。対策が必要である。
- 「岡山」などの地名や「晴王」などの独自ブランドが毀損されていないか、情報収集を行っており、対応が必要な事例については、農業団体等と連携し、商標登録への異議申立など必要な措置を講じています。また、県の現地フェアにおいて、正規品を示す商標権を記したリーフレットの配布や、現地事業者への正規品の規格、商標権の説明などの啓発を行いました。

第4回：テーマ「地区防災計画を広げよう！」（R3.1.20）

5 他県で地区防災計画の取組が進んでいる地域では、行政による表彰制度がある。表彰制度を創設すれば、それが地域にとっての晴れ舞台となり、それが地域の広報にも繋がり、取組が進むように思う。

→ 地区防災計画等の作成又は作成の普及に積極的に取り組み、その功績が顕著で、今後もその活動が期待できる団体等を対象とする「岡山県地区防災計画等作成推進協議会表彰制度」を創設しました。

第5回：テーマ「スポーツで岡山県を元気に！～地域活性化に向けたスポーツの力～」 （R3.2.18）

6 現役時代からアスリートの引退後のセカンドキャリアをサポートする仕組みがあるとよい。そうすればクラブに優秀な人材が集まるようになる。

→ アスリートとスポーツ活動を応援する県内企業をマッチングする事業を活用し、現役時代から引退後のセカンドキャリアについて考える機会を提供できるよう、県内トップクラブチーム等と協議を進めています。